

団体名 東京都小学校児童文化研究会

団体の概要

東京都小学校児童文化研究会は、昭和35年に発足した。以来、長年にわたり、豊かな創造性や人間性を養うため、楽しい授業を創造するために研究してきた。児童文化の手法を用い、児童の興味・関心を引き出しながら、集団活動の楽しさや素晴らしさを体験させることをねらいにして、全ての教科で実践研究を重ねてきている。

研究テーマ

コロナに負けるな！みんなでつくろう楽しい授業
～児童の心をつかむ児童文化手法～

研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

毎年、都内公立小学校で研究発表大会を行っている。コロナ禍においては、工夫した研修会を開催した。今年度は、活動に焦点を当て、児童文化的手法を用いた学習劇について研修会を行った。

取組の内容

各学校で行われている学芸会や学習発表会について、脚本選定や演劇の演出、舞台設備に関する内容について研修を行った。児童の動きを引き立たせる演出や効果的な舞台設備の活用に関する講座と実際の脚本を舞台化する講座を2日間行った。

成果

2日間で50名の教員が参加した。一つの脚本を演劇として上演するためのプロセスには、一定の決まりが存在することを確認した。その過程について、好事例の紹介や演習を通して学ぶことができた。受講者アンケートの結果から、児童への指導に生かしたいという意見が多くあった。

課題

演劇の研修会は、実技・演習が伴うため、対面での実施が望ましい。しかし、コロナ禍において、安全に配慮し、オンラインによる研修とした。オンライン研修により、演技者の意識や行動の変化を詳細に伝えることが難しく、課題として残った。

今後の活動予定

次年度は、研究発表大会を開催し、全ての部（学校劇部、童話部、ゲーム部、ダンス部、パネルシアター部、総合表現部）が実践研究の成果発表を行う。

代表者・連絡先

代表者：葛飾区立鎌倉小学校
校長 宮内 和彦
連絡先：品川立浅間台小学校
校長 高橋 健一
03(3474)2727